

第49号

八王子消化器病院
医療法人財団 中山会

八王子消化器病院
消化器病専門医療機関 東京女子医大関連病院

日本医療機能評価機構認定病院
〒192-0903 東京都八王子市万町177-3
TEL: 042-626-5111
www.八王子消化器病院.com

制作 (株)教育広報社

おおるり

HACHIOJI DIGESTIVE DISEASE HOSPITAL NEWS

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり病院職員を代表してご挨拶申上げます。

昨年一年を振り返ってみますと政治・経済、そして社会生活の多岐に亘り多難な年で、特に平和と安全保障に関する難問が世界中で頻発した年がありました。世界においては、国際テロ組織ISの脅威、強国の力による侵略、北朝鮮の核問題等々、枚挙に暇がありません。また、国内に目をやると戦後70余年守ってきた平和憲法の改正が国会決議された年でありました。

そのような暗雲漂う年の終わりに大村智名謹教授がノーベル生理学・医学賞を受賞されるという一筋の光明が射しました。同氏がアフリカを中心に蔓延する寄生虫に対するワクチンを開発したことにより2億人以上の人々が失明の危機から救われたのです。平時の安全保障とも云われる医療の人類平和に対する貢献度の大きさを感じ得ません。私達の最も大切な問題のひとつである医療ですが、転じて身近な最大の課題としてがん対策が挙げられます。

もっと知りたい!
身体 治療 病気 のコト

大腸がんの 早期発見・予防について

八王子消化器病院 顧問

武雄 康悦



切除術（EMR）、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）があり、病変の形状と大きさに応じて使い分けています。以上の検査の他にもCTや超音波検査、MRI、血液検査（腫瘍マーカー）等の複数の検査を組み合わせて総合的に診断を行います。

近年、我が国では大腸がんが増加の一途を辿っており、がんで亡くなられた方の中でも男女を問わず大きな割合を占め、最近の統計（厚生労働省2014年「人口動態統計」）によると、男性では第3位、女性では第1位となっています。一方、大腸がんに対する治療は、内視鏡等の機器の進歩や多くの知見の集積によって、安全性や治療効果が飛躍的に向上し、早期に発見し適切な治療を受けることで、その多くは治る病気となっていました。

大腸がんとは、大腸に発生した悪性腫瘍で、周囲の臓器に浸潤したり転移を起こしたりするものをいい、良性腫瘍とは区別されます。その発生には、正常粘膜から直接癌が発生するケースと良性腫瘍であるポリープ（腺腫）が癌に進展するケースがありますが、大腸がんの多くは腺腫から発生すると考えられています。このことからも検診等の諸検査による早期発見・診断が重要であることが理解いただけると思います。

以下に大腸がんの検査方法についてご説明いたします。最も普及しているのは便潜血検査で、これは便が大腸がんの表

面をこすつて血液が付着することを利用して、便中の血液（潜血）の有無を調べるもので、この検査は簡便であり、かつ苦痛を伴うこともないことから各自治体が広く採用しています。陽性であると大腸がんの可能性があるということになり、注腸造影検査や大腸内視鏡検査による精査が必要になります。

注腸造影検査は、肛門からバリウム等の検査用薬剤（造影剤）を空気とともに流し込んで大腸の壁に付着させX線で撮影することで、その形の変化から病変を診断する検査法です。この方法により、がんの大きさや周囲の臓器との位置関係が把握できます。

大腸内視鏡検査は、肛門から内視鏡を挿入し、大腸を内側から観察する検査法です。この方法では病変を直接観察することができ、また、がんの疑いがある部位から細胞を採取し顕微鏡を用いた詳細な診断を行うことができます。また、観察のみに止まらず検査中に発見したポリープや早期がんをその場で切除することができます。なお、内視鏡を用いた主な治療法には、内視鏡的粘膜下層剥離術（ポリペクトミー）、内視鏡的粘膜

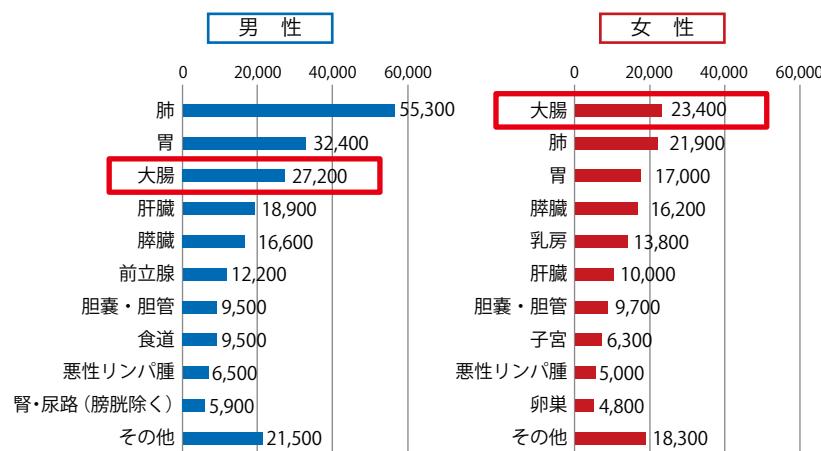
では大腸がんが増加傾向にあり、その一因として食事の欧米化とそれに伴う肥満や便秘等が以前から指摘されており、食事については糖質、炭水化物の過剰摂取は食後高血糖を招きインスリン産生量を増やし、糖尿病の発症原因となるばかりでなく、大腸がんの発症リスクが1.36倍に上昇するともいわれています。また、アルコールは少量では影響が小さいですが、1日46g以上（ビール大瓶2本約1,266ml、ワイングラス2杯・約400ml）で2倍、1日92g以上で3倍に発症リスクが高まるとのデータがあります。他にも喫煙や運動不足との関連性が指摘されており、これらに対しても、適

度な運動や食物纖維を適切に摂取する等のバランスの良い食事、規則正しい生活を送ることが対策として挙げられます。以上のように大腸がんの予防と早期がん見には、生活習慣の改善と定期的に検査を受けることが大切です。

当院では、消化器疾患の専門病院として進行大腸がんに対する外科的治療はより、診断精度の高い検査法を駆使し確実な診断を得て内視鏡による早期がんの治療にも対応しています。

2015年 がん死亡数予測

資料：国立研究開発法人国立がん研究センター（一部改変）



施設課のご紹介

施設課 倉田 博行

病院は、患者様にとって治療の場であることはもとより、生活の場でもあります。当課では、患者様にとって安全かつ快適な療養環境を提供するため施設・設備管理を中心に廃棄物管理、防災対策および院内行事の運営サポートと幅広く活動をしております。

以下、各業務の内容についてご紹介させていただきます。

●施設・設備管理

快適な療養環境にとって不可欠な電気、空調、換気、給排水等を始めとして患者様が安全かつ安心に治療を受けていただくために必要な防犯、防災、医療ガス等の施設・設備に関する管理を行っております。これらが正常に作動するためには、毎日の巡回点検が重要となります。点検に際しましては、諸設備に加えて人目ににくいパイプスペース等の目視点検を行いますが、この際に機器・設備の異常や漏水を発見することもあり、早期に対処することで故障や漏水被害を最小限に留めることに一役買っています。これは例えみれば皆様が病気の早期発見・治療のために定期検診をお受けになることに相通じるものだと思います。

●廃棄物管理

病院の運営に際しては、設備管理、營繕、清掃、植栽等で数多くの委託業者の協力を得ておりますが、その1つに廃棄物管理があります。廃棄物管理は、廃棄物と資源ごみの分別や排出量管理、減量の推進、行政届出等について委託業者との協力関係のうえに成り立っています。また、廃棄物排出者（病院）には最終処分までの責任があることから、廃棄物の処理施設・処分場を視察することも重要な業務となります。

これらの活動の一環として患者様に「廃棄物」と「資源ごみ」の分別にご協力いただくとともに栄養科・看護部を中心に食品リサイクル（食品残渣飼料化処理）を推進した結果、廃棄物の大大幅な減量化（▲73%）が実現しました。この取り組みは、行政の発行した『八王子市事業系ごみの手引き（第1～4版）』に「業種別取り組み事例」として紹介されました。

患者様には、この場を借りて感謝申し上げますとともに引き続きのご協力をお願ひいたします。

患者市事業系ごみの手引き（第1～4版）に「業種別取り組み事例」として紹介されました。患者様には、この場を借りて感謝申し上げますとともに引き続きのご協力をお願ひいたします。

●防災対策

「災害は忘れた頃にやつて来る」と言われていますが、当課では年2回の法定防災訓練（通報、初期消火、避難・誘導等）や受変電設備法定点検時の自家発電機の試運転（全館停電時に最長72時間稼動可能な設備です）はもとより、防災対策委員会と合同で無線機を用いた通信訓練や炊き出し訓練等を実施しております。また、消防用設備の日常点検や災害時備蓄品（患者様・職員を含めて3日分の水、食料、医薬品等を常備しております）の保管・管理や非常用ポータブル発電機の試運転等を行い、万が一事態にも対応できるよう病院を挙げて取り組んでおります。



想うこと

年の始めの例とて 終わりなき世のめでたさを
松竹たてて門ごとに 祝う今日こそ楽しけれ



今では一般家庭で門松を見ることは、とんと無くなり古き良き風習は、すたれるばかりです。翻って、初詣をする人は年々歳歳増えているようで、各地の神社仏閣は、多くの参拝客で賑わっています。

一年の門出にあたって希望に満ちた、そして平穡無事な年であって欲しいと願う心は、何時の世も変わらないということでしょうか。この年末年始は、天候にこそ恵まれたものの、政治・経済そして社会生活において波乱の幕明けとなってしまいました。今年一年の安寧を願って止みません。

理事 久野久夫

雪時に患者様が安全にご来院いただけるよう看板やポール等の事前撤去や歩道・駐車スペースを確保するための除雪作業等も行っています。